

口頭供述のまとめ （ガルバハール・ジェリロヴァ）

2019年4月6日

中国国籍を所有したことはありません。

拘留の当初から弁護士を要請しました。ウイグル語も中国語も読めないからです。「弁護士をつけることはできない。法廷には1人でいかなければならない」と言われました。

1年3ヶ月10日、拘留されました。

中国のIDを渡され、番号を覚えさせられました。

誰にも自分たちが何をしているのか説明しませんでした。どこかに連れて行かれるときは、必ず足かせをはめられ、黒の頭巾を被せられました。警察の本署に連れて行かれました。3人の婦人警官が私たちに動向しました。

少なくとも月に1回は特別な病院に連れて行かれました。通常、3～4台のバスが到着し、いつも同じ状態で連行されました。黒頭巾と手錠、鎖が用いられました。第2刑務所では、病院内の診療所で検査を受けました。

週に1回、薬を与えられました。ラウドスピーカーで呼び出され、列に並ばせられ、毎回錠剤を3つ渡されました。10日に1回、注射も受けました。

他の人と私は、月に1回、完全な身体検査を受けました。超音波スキャンは3回受けました。肺を検査するためにレントゲンも撮られました。毎月です。何をしているのか尋ねたら「黙れ」と言われました。質問することは許されませんでした。

収容所で皮膚疾患に悩まされました。ほぼ全員が皮膚疾患でした。今でも、かゆみに悩まされています。

投与された注射も錠剤も、何かわかりません。尋ねることは許されませんでした。

囚人の90%はウイグル人、10%はキルギスやカザフのようなイスラム教徒の少数民族でした。例を挙げると、監房に40名いたら38名がウイグル人で2名がカザフ人でした。私が唯一の外国籍者でした。

そこにいた人は皆、無実です。ウイグル人もしくはイスラム教徒だから拘束されたのです。例えば、47歳のウイグル人の女医は、電話にウイグルの歌が入っていることが見付き、拘束されました。その曲は禁止されていると言われました。

ウイグル人の51歳の女性は、息子に小麦粉が切れたとメッセージを送りました。秘密のメッセージを送ったと責められ、これが拘束の理由でした。

臓器狩りが行われていることは捉えられている女性たちから聞きました。多くの女性は（私の監房も含み）監房から連れ出され、戻ってきませんでした。私は24時間続く尋問のために連れ出されましたが、同じ監房に戻りました。その他の多くの女性は質問のために連行され、戻ってきませんでした。

なぜ釈放されたのかわかりませんでした。テロリストだと責められ刑務所に入れられている間、彼らが私の家に通知を送っていたことが後で判明しました [通知を示す]。

私の子供たちが、中国と該当する部署に何度も手紙を出して、私が単なる業者で他のことには一切関与していないことを当局に説明し続けました。テロの嫌疑に関して調べているところだという返事がきました。

尋問では通常3人の警官がいました。2人がウイグル人の場合は、もう1人は中国人でした。

女性に対する性的暴行は目撃していませんが、尋問中に起きていることは耳にしました。恥ずかしくて口に出せないことが起こっていると言われました。ある尋問中に、性的暴行をするという脅しを受けました。私がこれやあれを認めなければ、特定の事が起こると言われました。

刑務所に送り込まれてから、私も他の囚人もシラミに苛まれました。そのため、強制的に髪を剃られました。一人の女性が注射されたことがありました。彼らは彼女を寝かせるためだと言いました。

## 公聴会後の確認

**最後に（聴講者の一人が翻訳を助けた際の）、「眠ることを」助ける薬とはどういう意味ですか？また、リストバンドには何の意味があるのですか？**

刑務所内の病院にいたとき、オレンジのリストバンドをしている女性たちに会いました。眠らされるための順番を待っていました。

死刑を宣告された者はオレンジのリストバンドを着け、刑務所病院で眠りにつかされる（つまり死ぬ）順番を待ちます。

**オレンジのリストバンドを着けている女性を何人見ましたか？**

2人です。

**リストバンドを着けた人はウイグル人でしたか？**

若いウイグル人女性でした。一人が私に、死刑宣告を受け、眠らされる順番を待っていると話しました。

**リストバンドを着けた者は、法廷手続きを経たのでしょうか？どのような「犯罪」でしょうか？**

お互いに話すことが許されなかったので、わかりません。テロ活動に関与したと責められてきたのだと思います。適切な法的手続きを踏まないよくある言いがかりです。

追加の書類

(ジェリオヴァ・ガルバハールの逮捕通知)

日本語字幕付き供述の映像

<https://youtu.be/T4EqH991T9I>